

兵庫県豊岡市但東町

# 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 22 号 (2020 年度)

**Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No. 22 (for the fiscal years of 2020)**

# はじめに

2020年度は、開館して24年目となりました。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などの常設展示、日本の文化や歴史、モンゴルに関連した企画展の開催、楽しみながら異文化が学べる体験型の博物館としてモンゴル国を紹介してまいりました。

しかし、令和時代のスタートとなった2020年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしました。

国の緊急事態宣言の発出に伴い、当館も4月9日から5月17日までの間は、臨時休館となり、以後もイベントの人数制限など様々な面で影響が出始めました。

当然、モンゴル国との往来にも制限がかかり、資料鑑定調査を依頼していたモンゴル国のラグワスレン教授の来日も困難となったほか、感染状況により事業を中止せざるを得ない状況もありました。

コロナ感染症の終息が今だ見えない状況下ではありますが、博物館の使命である文化振興はもとより、モンゴル国の政府機関・交流団体や在日モンゴル国の方々との連携を一層強め、交流の拡大・浸透を図り国際交流の拠点としての役割を果たしていきます。

あわせて、子ども達の学習、文化振興の拠点となる日本・モンゴル民族博物館を目指していきます。

おわりに、本年度事業にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2021年3月31日

日本・モンゴル民族博物館  
館長 坂本 敦子



# 目 次

I	2020 年度概要	3	6	各種委員会委員等の受諾
			7	博物館ネットワーク
			8	博物館日誌抄
II	展覧事業	3	9	お客様の声（抜粋）
1	常設展		10	豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 の設置及び管理に関する条例
2	企画展		11	施設概要
			12	交通案内
III	資料収集保存事業	8	13	利用案内
1	寄贈			
2	資料の貸出			
3	資料の燻蒸			
IV	普及教育事業	9		
1	出前授業			
2	来館受入授業			
3	体験教室、講座の開催			
4	イベントの開催			
5	トライやる・ウィークの受入れ			
6	情報の発信と公開			
7	その他			
V	国際交流事業	12		
1	モンゴル国との国際交流			
2	モンゴル国友好訪問使節団の受入れ			
VI	管理運営	12		
1	組織・職員			
2	予算の概要（決算額）			
3	利用状況			
4	施設管理			
5	博物館協力会			

# I 2020 年度概要

本格的な令和時代のスタートとなった 2020 年度は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国民の暮らしに大きな影響を及ぼした。

感染者の増加に伴い、政府の東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の 7 都府県を対象にした緊急事態宣言の発令に伴い、当館においても、4 月 9 日から 5 月 17 日までの間は、兵庫県の新型インフルエンザ等特別措置法の規定に基づく緊急事態措置により、臨時休館となった。

今年度の企画展は、新型コロナウイルス感染症による休館後に 3 つの企画展を開催し、通算で 81 回を数えた。

教育活動においては、コロナ禍で制限はあったが、感染対策を行ったうえの実施方法を模索し、市内小学校への出前授業、市内外校の来館受入授業や各種体験教室などを実施した。

国際交流では、在大阪モンゴル国総領事のダワードルジ デルゲルツォグト氏が来館され、今後のモンゴル国との交流などについて市長と懇談いただいた。

イベントでは、コロナ禍であっても、地域が閉塞せず、少しでも元気が出るような取り組みをとる思いから、但東地域の 3 地区コミュニティと共催で、クリスマスイベントを行った。

課題は残ったものの、地域が一体となった取り組みの必要性も実感し、今後も続けていきたいと考えている。

また「まるごとモンゴル雛まつり」は、感染拡大防止の観点から、イベント会場を資母体育館へ移し、参加人数を制限し 2 日間にわたって開催した。

今後も、当館の文化施設としての役割と振興を図るため、職員がより一丸となって新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、各事業に取り組んでいく必要があると考える。

## II 展覧事業

### 1 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具な

どを展示

- ⑤ 伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

## (2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に常設展の展示替えを行ったが、その後は、部分的な手直しにとどめている。

昨年度より収蔵品の鑑定を依頼しており、すべての収蔵品の鑑定が終了した段階で、常設展の展示替えを検討していく予定である。

## (3) 屋外展示

- ① 山羊小屋…屋外の小屋に山羊 1 頭を飼育し公開している。  
② 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体

## (4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

## (5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、ものづくり教室、ハーバリウム教室、羊のマスコットづくり教室なども開催している。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験については、現在中止している。

また、企画展に関連したものづくり等のワークショップを年間複数回開催し、子どもを中心に市内外からの参加を得ている。

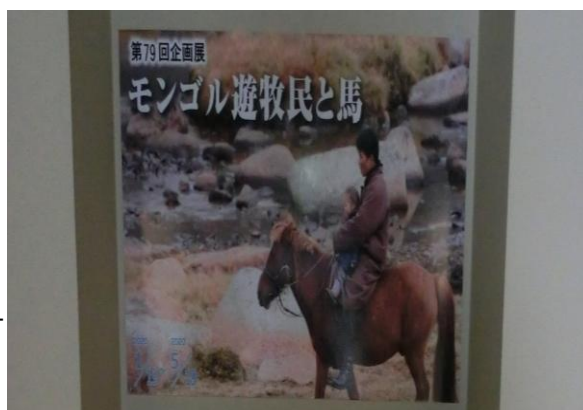
## 2 企画展

### (1) 第 79 回企画展 「モンゴル遊牧民と馬」

会期：2020 年 1 月 19 日～5 月 19 日

1 月 19 日～3 月 31 日 63 日間（見学者数 1,918 人）

モンゴルの遊牧民が、草原に暮らすために不可欠な存在が馬である。遊牧民にとっての馬とは何か。写真パネル、映像、馬具などを展示し、その役割や文化を紹介した。





遊牧民の馬の調教と馬群管理



馬具の展示と説明

(2) 第80回企画展 「つなぐ・シーズンI」

会期：2020年6月7日～9月22日 105日間（見学者数 1,695人）

モンゴル遊牧民の生活に欠かせない五家畜（羊、山羊、馬、牛、ラクダ）をモチーフとした豊岡生まれの彫刻家による彫刻やスケッチ絵画、ハートや五家畜をもとに「命」を表現したナイーブアート、遊牧文化を代表する素材の羊毛を紡いで織られた布、羊毛フェルト雑貨、日本の文化である藍染めから派生した布によるファイバーアートの5人の女性作家の作品をサウンドデザイナーがモンゴル草原をイメージした音でつないだ企画展として開催した。

また、企画展に関連したワークショップを4回開催し、多くの参加を得た。



彫刻家はしもとみお氏作品



上：公文千洋子氏 裂織作品  
 左：アリユンダリ氏 フェルト作品



鳥飼二美子氏 羊毛作品



大原 泉氏  
 ナイーブアート作品

(3) 第81回企画展 「公文書と資料からみる近代の合橋村」

会期:2020年10月25日~2021年4月20日 128日間(見学者数2,748人)

豊岡市但東町を構成している旧3か村(合橋、高橋、資母)の近代の歴史を公文書、写真やその他の資料などから、改めて地域独自の歩みを振り返る機会を提供した。3年度目は合橋村を取り上げ、当館保存資料に加えて、矢根大石家や地域の方々からも資料等を借用し、展示した。



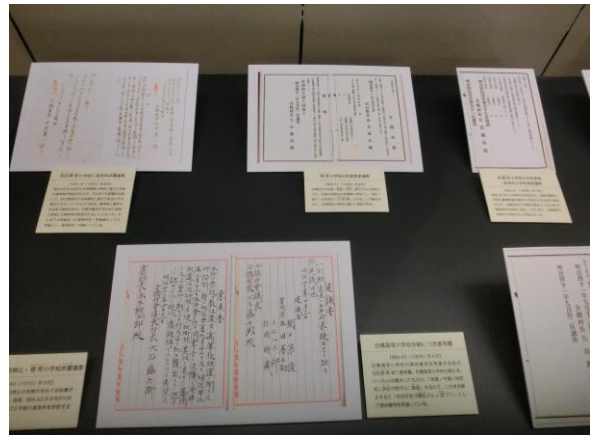
明治初期の行政の変遷



明治初期の土地調査史料



明治から大正期の小学校



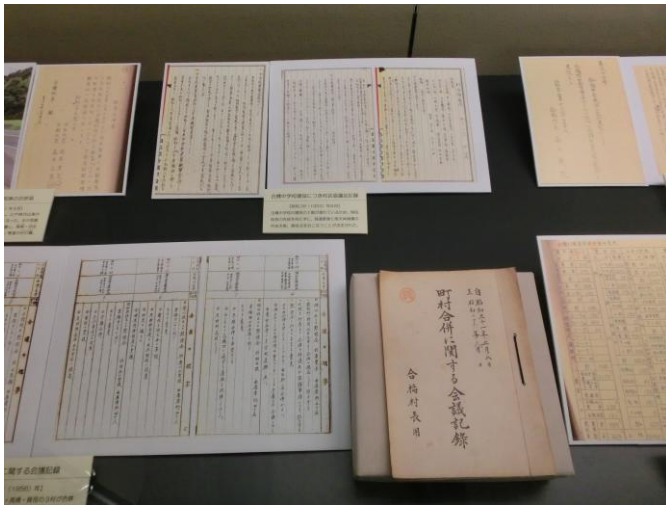
合橋高等小学校存続につき意見書



明治後期~昭和戦中期の諸史料



第一回国勢調査記念章・係員記章



町村合併に関する会議録



戦後の唐川国民学校・合橋小学校



昭和戦中期～戦後期の諸史料

### Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル民族及び考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より、台帳の電子化整備及び資料の調査を進めてきた。モンゴル関係資料については、平成 30 年度でほぼ完了したため、昨年度はモンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料鑑定調査を開始し、4年間で約 550 点の鑑定調査を予定している。本年度についても引き続き教授に鑑定を依頼していたが、新型コロナウイルス感染症により、モンゴル国との往来が禁止されたため、実施できていない。

#### 1 鑑定調査

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

#### 2 寄 贈

(1) 寄贈資料（敬称略・順不同）

【個人】

- ① アリユンダリ（名古屋市北区小倉台）  
・額装済絵画 1点

3 資料の貸出

【団体】

- ① 市立歴史博物館 - 但馬国府・国分寺館 -  
・麦わら細工 1点  
・高等小学校 1点

4 資料の燻蒸

全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ2回実施した。収蔵庫（3カ所）内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を3回設置して殺虫・防虫処理を、害虫、ネズミの点検を毎月1回実施した。

委託先：クリーン(有)本店

## IV 普及教育事業

1 出前・来館授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では当館資料を活用して、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるよう努めている。出前授業は、教育委員会の方針に沿い、市内に限定して現在は実施している。前年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止となった小学校も多数ある。

(1) 小学校

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	1月12日	豊岡市立五荘小学校	2年	125	モンゴルってどんな国
2	1月14日	豊岡市立静修小学校	2年	12	〃
3	1月18日	豊岡市立港東小学校	2年	12	〃
4	1月19日	豊岡市立田鶴野小学校	2年	29	〃
5	1月22日	豊岡市立寺坂小学校	2年	7	〃
6	1月26日	豊岡市立竹野小学校	2年	20	〃
7	2月2日	豊岡市立福住小学校	2年	17	〃
8	2月4日	豊岡市立中筋小学校	2年	17	〃
9	2月5日	豊岡市立八条小学校	2年	60	〃
10	2月8日	豊岡市立神美小学校	2年	25	〃
11	2月9日	豊岡市立府中小学校	2年	33	〃

12	2月12日	豊岡市立豊岡小学校	2年	62	〃
13	2月16日	豊岡市立新田小学校	2年	36	〃
14	2月19日	豊岡市立小野小学校	2年	14	〃
15	2月25日	豊岡市立城崎小学校	2年	33	〃
16	2月26日	豊岡市立高橋小学校	2年	4	〃

計 18 校                      506 名

## 2 来館受入授業

### (1) 小学校・幼稚園

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	9月7日	豊岡市立資母小学校	3年	8	館内見学
2	10月9日	京丹後市立網野北小学校	2年	29	モンゴルってどんな国
3	10月22日	京丹後市立網野南小学校	2年	27	〃
4	10月22日	豊岡市立合橋認定こども園		29	館内見学
5	1月21日	豊岡市立資母小学校	3年	9	モンゴルってどんな国
6	1月21日	豊岡市立合橋小学校	2年	14	〃
7	1月21日	豊岡市立資母小学校	2年	13	モンゴルってどんな国
8	3月5日	京丹後市立吉野小学校	2年	19	〃
9	3月11日	京丹後市立弥栄小学校	2年	28	〃
10	3月15日	京丹後市立島津小学校	2年	11	〃
11	3月16日	京丹後市立たちばな小学校	2年	15	〃
12	3月18日	京丹後市立いさなご小学校	2年	33	〃

計 12 校                      198 名

## 3 体験教室・講座の開催

### (1) 体験教室

教 室 名	実施回数	参加人数	備 考
フラワーバーバリウム教室	20	121	通年
やきもの教室	1	3	夏休み教室
ミニハーバリウム教室	1	12	
モンゴル茶会	1	6	企画展関連ワークショップ*
羊の牧草茶と草原のランチ	1	7	
羊の毛で糸を紡ごう	1	10	
みお先生のスケッチ教室	1	13	
羊のマスコット	1	84	まるごとモンゴル雑まつり
ハーバリウム	1	25	
計	28	281	

#### 4 イベントの開催

- (1) しぼ・モンゴル宝まつり 2020年11月1日(日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

- (2) まるごとモンゴル雛まつり 2021年3月14日(土)、15日(日)

新型コロナウイルス感染対策の観点から、イベント会場を資母体育館とし、人数制限を行い2日間開催した。

#### 5 トライやる・ウィークの受入れ

本年度は出石中学校より2名の希望者があったが、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、中止となった。

#### 6 情報の発信と公開

博物館の存在や博物館活動等に関する情報を発信していくことは、入館につながる重要な活動のひとつであり、入館者が増えることは、広い意味で市民文化の振興と文化活動を支援することにつながる。

博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

- (1) 博物館の広報活動

- ①博物館事業案内などの主な定期発送先

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館及び報道機関など。

- ②報道機関への情報・資料提供

- ③資母まちづくり協議会等主催行事への協賛

- ④近隣市町へ

- (2) インターネット等による情報発信

市広報やイベントポスター等だけでなく、インターネットやSNSなどによる情報発信の強化が更に重要となっている。

博物館もホームページやフェイスブック、インスタグラムで情報発信している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの更新や追加は、催し物案内など定期的に行うもののほか、多様な情報掲載を随時行うよう努めている。

また、本年度は、モンパクグローバルクラブの活動をインスタグラムで動画配信した。今後も積極的な情報発信に努めていく。

#### 7 その他

- (1) 文化財等保護活動

環境省レッドリスト絶滅危惧 I B類のホトケドジョウが但東町東里で見つかったとの連絡があった。オオサンショウウオの連絡もあったが保護活動等  
は行っていない。

## V 国際交流事業

### 1 モンゴル国との国際交流

今年度は、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行したため、渡航制限により、モンゴル国と日本との往来が困難な状態となっている。

7月には、大阪モンゴル国総領事が来館され、「モンゴルの文化を紹介する世界でも一つしかない博物館であり大切にしてほしい。またモンゴルとの交流についても続けてほしい。交流の形は様々であり、全国各地で交流が始まっている。いい形に変わってほしい。」と激励を受けた。午後からは、市長を表敬訪問していただいた。

また、モンゴル国との受入派遣交流に代る新たな取り組みとして、モンゴルの文化と日本の伝統文化を対比しながら、五感を使って様々な博物館活動を体験してもらうことを目的とするモンパクグローバルクラブを立ち上げた。

#### (1) モンパクグローバルクラブ

参加数 7家族 17人 活動回数 6回

#### (2) 草原の風 モンゴル祭り 大阪 2020 (モンゴル秋祭り)

モンゴル秋祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

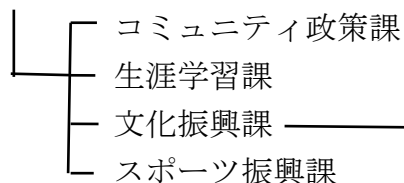


## VI 管理運営

### 1 組織・職員 (2021年3月31日現在)

#### (1) 組織

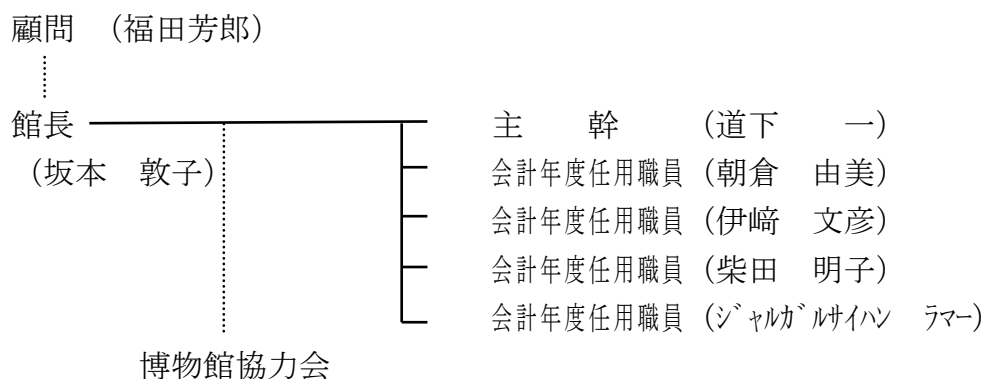
豊岡市地域コミュニティ振興部



豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」

豊岡市立豊岡市民会館  
豊岡市立歴史博物館-但馬国府・国分寺館



## (2) 職員

館 長 坂本 敦子 (2019年4月～)

(会計年度任用職員)

主 幹 道下 一 (2014年4月～)

会計年度任用職員 (学芸員) 朝倉 由美 (2013年4月～)

会計年度任用職員 (学芸員) 伊崎 文彦 (2015年4月～)

会計年度任用職員 (管理員) 柴田 明子 (2001年4月～)

会計年度任用職員 (事務補助) ジャルガルサハン ラマー (2020年5月～)

## 2 予算の概要 (決算額) 単位:千円

〔管理費〕 26,592

- ① 需用費 3,436 (消耗品費 237、燃料費 78、印刷製本費 115、光熱水費 2,603、修繕料 382、飼料費 21)
- ② 役務費 373 (通信運搬費 219、手数料 94、保険料等 60)
- ③ 委託料 1,632 (電気保安点検 219、自動ドア点検 59、消防施設点検 33、芝生管理 110、清掃管理 258、警備 264、電気使用料監視 55、資料燻蒸 110、除雪 524)
- ④ 使用料 506 (自動車借上料 340、土地借上料 12、機器借上料 29、用品借上料 71、テレビ視聴料 34、通行料 20)
- ⑤ 工事請負費 20,281 (空調設備 6,113、屋根等補修工事 14,168)
- ⑥ 備品購入費 354 (庁用備品 354)
- ⑦ 負担金 10 (負担金 10)

〔事業費〕 2,102

- ① 報償費 590 (講師謝礼 590)
- ② 旅 費 154 (普通旅費 96、費用弁償 58)
- ③ 需用費 940 (消耗品費 839、食糧費 14、印刷製本費 75、修繕料 12)
- ④ 役務費 147 (通信運搬費 91、保険料 23、手数料 33)

⑤ 使用料 62 (用品借上料 10、機器借上料 52)

⑥ 備品購入費 209 (展示用備品 209)

### 3 入館者状況

入館者は、2021年3月末で、開館以来延べ461,895人となった。2020年度は、コロナ禍の影響で、開館日数は270日、入館者数4,963人(前年比△51.6%)と前年を大きく下回った。今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止に注意しながら、ワークショップの開催や夏休み教室の充実など、館活動の積極的な推進を図るとともに、さまざまな情報発信による集客に努めていく必要がある。

#### 【2017年度(平成29年度)(開館日:308日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	64	49	60	57	81	47	30	654	36	25	27	53	1,183
一般	429	290	141	152	305	285	264	409	149	102	168	459	3,153
高、大	4	12	0	5	17	41	17	4	2	0	0	14	116
小、中	22	21	9	3	51	12	12	3	3	5	37	94	272
その他	3,860	361	339	255	395	305	335	701	318	356	673	715	8,613
計	4,379	733	549	472	849	690	658	1,771	508	488	905	1,335	13,337
1日平均	156	28	21	17	33	27	24	71	22	21	38	49	43

#### 【2018年度(平成30年度)(開館日:307日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	23	18	50	18	46	36	35	47	16	28	23	40	380
一般	412	306	100	108	273	211	335	239	126	110	152	452	2,824
高、大	6	8	2	5	24	7	0	2	3	4	11	15	87
小、中	32	13	7	14	46	15	5	10	2	8	15	171	338
その他	2,060	233	457	171	394	199	347	1,384	176	612	640	550	7,223
計	2,533	578	616	316	783	468	722	1,682	323	762	841	1,228	10,852
1日平均	90	22	24	12	30	18	28	65	14	33	35	45	35

#### 【2019年度(令和元年度)(開館日:311日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	28	41	36	22	32	105	34	37	28	37	22	31	453
一般	436	331	145	196	213	197	179	156	92	157	202	149	2,453
高、大	11	9	0	3	12	4	1	1	5	5	16	23	90
小、中	43	43	3	14	40	9	5	6	5	9	31	30	238
その他	2,652	311	260	232	322	295	245	1,094	79	593	655	243	7,010

計	3,170	735	444	467	619	610	464	1,294	238	801	926	476	10,244
1日平均	109	27	17	17	22	23	17	49	10	34	37	17	32

【2020年度（令和2年度）（開館日：270日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	8	6	8	17	7	10	10	12	18	5	3	10	114
一般	11	36	117	190	203	189	161	178	103	46	254	355	1,843
高、大	0	0	0	15	37	3	3	3	3	0	4	16	84
小、中	5	4	14	39	64	22	12	15	6	7	107	146	441
その他	75	47	160	284	188	147	214	142	135	274	482	333	2,481
計	99	93	299	545	499	371	400	350	265	332	850	860	4,963
1日平均	16	7	11	20	18	14	15	13	11	14	35	33	18

#### 4 施設管理

##### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センター、ワークホーム大地に年間3回委託した。シルバー人材センターは、毎年ボランティア活動として、博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

また、委託分のみでは十分でないため、当館職員も随時、除草作業を行っている。

##### (2) 修繕工事等

本館については、開館して23年となるが、その間大規模な雨漏りや空調機器の故障等もなく推移してきた。しかし、施設点検では、鏡面ガラス壁を固定防水保護するシーリングや陸屋根部分の防水保護塗装に剥離破損が多数確認されている。また、空調機器の経年劣化も進み、冷媒ガスは新環境基準に適さないことや排気温度感知センサーの異常もある。

このような状況から、本年度については、剥離等の劣化が著しい陸屋根の防水塗装及び露筋壁面の塗装補修工事を行った。空調については、故障している機器3台の改修工事を行った。

また、通用口のオーバースライダーの天井吊り上げバネが破損したため、修繕を行っている。

ア 防水等改修工事	14,168 千円
イ 空調設備修繕	6,113 千円
ウ オーバースライダー修繕	220 千円

#### 5 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区住民の呼びかけで、平成9年2月

10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事として連なる。加えて、但東地域選出市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

2020年度の活動内容は以下のとおりである。

(1) 役員

会 長 戸垣 和緒

副会長 2名 理事 10名 顧問 4名

任期：2020年4月1日～2021年3月31日

(2) 活動内容

① 役員会の開催

2020年7月3日に役員会を開催し、博物館の事業報告・事業計画などの説明と運営に対しての協力依頼を行った。

② 各種事業への協力

企画展をはじめ、まるごとモンゴル雛まつりなど当館事業のPRや参加にご協力をいただいた。

③ 芝生広場除草などのボランティア作業

敷地内芝生広場の除草や、メダカや金魚の飼育管理に協力いただいた。

6 各種委員会委員などの受諾

但馬地域博物館連絡会 副会長

7 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、2021年3月末で143館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・2020年6月 兵庫県博物館協会総会書面開催
- ・2021年2月18日（木） 研修会「コロナ禍の下での博物館」  
（オンライン開催）
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・ “ ” で展覧会案内情報更新
- ・子どもたちのミュージアムポスター作成
- ・協会ホームページの更新
- ・2020年度兵庫県博物館ガイドの作成、配布

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年（平成9年）4月25日に設立され、2021年3月末現在では17館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟した。

2019年度及び2020年度は、輪番で副会長に就任することになっている。

- ・2020年8月7日 総会
- ・2020年8月7日 研修会「羽尻利門絵本原画展」鑑賞  
各館開催中の企画展に関する意見交換
- ・2020年11月20日 第2回研修会 「西山まい展」鑑賞
- ・あさご芸術の森美術館ボランティアについて

## 8 博物館日誌抄

2020年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 第79回企画展「モンゴルの遊牧民と馬」前年度から継続開催(～5/19)
- 4月2日 館内会議
- 4月9日 緊急事態宣言により本日より5月17日まで休館
- 5月7日 館内会議
- 5月11日 エネビシさんの協力で箕面市国際交流協会へ但東地域有志による玄米を届ける。
- 5月18日 本日より開館 Jラマーさん出勤
- 5月26日 館内会議
- 5月28日 部内会議(本庁 道下)
- 6月1日 企画展調整(道下、朝倉)
- 6月4日 展示替作業
- 6月7日 第80回企画展「つなぐシーズン1」開催(～9/22)
- 6月11日 サンテレビ企画展取材(朝倉)
- 6月14日 モンパクグローバルクラブ開催(14人加入)
- 6月19日 但馬博物館連絡会役員会(市立美術館 坂本)
- 6月21日 ハーバリウム教室(朝倉)
- 6月29日 公文先生来館
- 7月2日 部内会議(本庁 道下)
- 7月3日 博物館協力会役員会(坂本、道下)
- 7月11日 羊の牧草茶と草原のランチ(5名参加)  
モンゴル大使館ボロルチメグ氏来館
- 7月12日 ハーバリウム教室(朝倉)
- 7月13日 決算審査(道下)  
但馬博物館連絡会学芸員協議(朝倉、伊崎)
- 7月18日 ハーバリウム教室(朝倉)
- 7月19日 夏休やきもの教室(3名参加)
- 7月20日 モンゴル国大阪総領事、宇津崎氏来館
- 7月23日 アート縁日(市民プラザ 坂本、道下、伊崎)
- 7月24日 ハーバリウム教室(朝倉)

- 7月25日 モンパクグローバルクラブ（12名参加）  
知念大地さん大道芸
- 7月26日 羊毛で糸をつむごう（ワークショップ）（10名参加）
- 7月28日 大屋中学校教諭社会体験受入（朝倉、伊崎）
- 7月30日 館内会議
- 8月2日 みお先生のスケッチ教室（13名参加）
- 8月6日 ハーバリウム教室（資母コミュニティ）（朝倉）  
シルバー人材センター草刈（ボランティア）
- 8月7日 但馬博物館連絡会総会（市立美術館 坂本）
- 8月9日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 8月11日 資母小学校社会体験受入（朝倉、伊崎）
- 8月18日 京都府立丹後郷土資料館（宮津市 坂本、朝倉）
- 8月23日 モンパクグローバルクラブ（14名参加）
- 8月25日 館内会議
- 8月31日 博物館あり方協議（本庁 坂本 道下）  
但東地域各地区コミュニティと協議（坂本、道下、朝倉）
- 9月1日 部内会議（道下）
- 9月3日 京都府立丹後郷土資料館（宮津市 朝倉、伊崎）
- 9月6日 合橋地区コミュニティにてハーバリウム教室（朝倉）
- 9月7日 資母小学校3年生見学受入（道下）・消防点検  
資母地区コミュニティと打合せ（坂本、朝倉）
- 9月8日 館内会議
- 9月12日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 9月17日 但東振興局戦略体系図協議（坂本、道下）
- 9月20日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 9月23日 展示替え
- 9月24日 大阪大学今岡准教授資料調査（朝倉、ラマー）
- 9月25日 劣化診断調査（道下）
- 9月26日 高橋地区コミュニティ会長と協議（坂本）
- 9月28日 企画展展示品返却（三重県 道下、朝倉）
- 10月2日 展示資料返却玄武洞ミュージアム（朝倉）
- 10月5日 館内会議・予算説明会（本庁 柴田）
- 10月10日 福住地区コミュニティにてハーバリウム教室（朝倉）
- 10月13日 合橋地区コミュニティにてハーバリウム教室（朝倉）
- 10月18日 モンパクグローバルクラブ（馬頭琴福井さん、箏米原さん、ピアノ  
中嶋さん）
- 10月19日 空調機器の改修工事着手（宮部空調）
- 10月20日 公文先生へ資料返却（西宮市 道下、朝倉）
- 10月24日 大阪大学今岡准教授資料調査（坂本、朝倉）

- 10月30日 館内会議
- 11月1日 ハーバリウム教室（朝倉）
- 11月2日 部内会議（本庁 道下）
- 11月3日 市展応援（本庁 朝倉）
- 11月14日 陸屋根防水塗装、露筋壁面の塗装補修工事着手
- 11月20日 予算協議（本庁 坂本、道下）
- 11月21日 モンパクグローバルクラブ（10人参加）
- 11月24日 館内燻蒸
- 11月29日 企画展展示説明会（伊崎）
- 12月3日 館内会議・空調工事最終点検
- 12月13日 ハーバリウム教室（4名）
- 12月14日 オーバースライダー修繕工事  
豊岡市美術館博物館連絡会（本庁 坂本）
- 12月17日 政策費財政課ヒアリング（本庁 坂本、道下）
- 12月27日 モンパクグローバルクラブ（13名参加）  
アートでモンゴルな Xmas ツリーinモンゴル博物館  
ナイトミュージアム
- 1月7日 館内会議
- 2月1日 但東各地区コミュニティと協議（坂本、朝倉）
- 2月4日 館内会議
- 2月21日 ひなまつりリモートで音源調整（道下、朝倉）
- 2月22日 但東図書館蔵書点検
- 2月25日 ペインター企画展打ち合わせ（朝倉、伊崎）
- 2月27日 今岡先生ラクダの機織り機を持参（坂本、道下）
- 3月1日 但東各地区コミュニティと協議（坂本、朝倉）
- 3月2日 次期企画展打ち合わせ（歴史博物館他 朝倉、伊崎）
- 3月4日 館内会議
- 3月5日 本庁協議（坂本）
- 2月19日 城崎アートセンター協議（坂本、朝倉、伊崎）
- 2月24日 但東図書館蔵書点検
- 2月27日 館内会議
- 3月3日 「モンゴル草原の暮らしと文化」展示棟 天井照明修繕工事（業者）
- 3月5日 企画展について協議（三重県 道下、朝倉）
- 3月12日 ひなまつり準備
- 3月13日 まるごとモンゴル雛まつり
- 3月14日 まるごとモンゴル雛まつり
- 3月19日 但馬博物館連絡会引き継ぎ（坂本、道下）
- 3月25日 館内会議・協力会について協議（坂本）  
文化振興課協議（坂本、道下）

3月27日 ハーバリウム教室（朝倉）

## 9 お客様の声（抜粋）

以下は、2020年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に生かしたいと考えている。

◎5月23日 兵庫県美方郡（10歳未満 女子）

2年生でスーホの役をしたので来たかったです。民族衣装を着たかった。

◎5月30日 京都府木津川市（10歳未満 女子）

モンゴル暮らしや文化が良くわかり勉強になった。

◎6月28日 兵庫県豊岡市（10歳未満 女子）

本物のゲルの中に入れて面白かった。

◎7月24日 京都府京丹後市（60代 女性）

ゲルの生活が感じられ良かった。

◎7月26日 京都府京丹後市（10歳未満 女子）

4回目だけど、何回来ても面白い。スーホが作った馬頭琴を展示してほしい。

◎8月9日 兵庫県豊岡市（10歳未満 男子）

初めて見るものがあるって、次に行くのにワクワク感が止まらない。

◎10月12日 京都市福知山市（40代 男性）

但東の暮らしと文化展示は、道具の使い方の説明があったほうが良い。綿くり機が存在が理解しがたい。モンゴルの現在が見えにくい。図書コーナーの見せ方は変えたほうが良い。モンゴル文化を専門とする博物館の存在は貴重だと思う。

◎1月9日 京都府舞鶴市（10歳未満 女子）

スーホの白い馬をもうすぐ習うので予習に来ました。

◎2月13日 兵庫県豊岡市（10代 女子）

展示物がとてもリアルで、モンゴルの様子がよくわかりました。

◎2月23日 京都府与謝野町（30代 女性）

小学校2年生の担任の先生よりモンゴル博物館のことを聞いてきました。ゲルに入れ、色々知れてよかった。馬頭琴を実際にひかせていただきありがとうございました。

◎3月13日 兵庫県美方郡（30代 女性）

小学2年生の子どもがスーホの白い馬を習っていて、行きたいということで来ました。親子で楽しめました。ゲルに実際には入れてすごくよかった。

## 10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び 管理に関する条例

平成17年4月1日

条例第179号

改正 平成19年12月26日条例第66号

平成26年3月28日条例第8号

平成27年3月27日条例第14号

令和元年12月25日条例第26号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付

し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適當であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認

めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成8年但東町条例第21号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成19年12月26日条例第66号）

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例

の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成26年3月28日条例第8号）抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月27日条例第14号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（令和元年12月25日条例第26号）

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料 (1人1回につき)		備考
	個人	20人以上の団体	
一般	500円	400円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学生	300円	240円	
小学生中学生	250円	200円	

別表第2 (第7条、第11条関係)

区分	使用料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,600円	2,100円	
体験交流室	1,300円	1,700円	1,700円
天幕住居 (ゲル)	1基につき5,300円		
備考 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。			

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

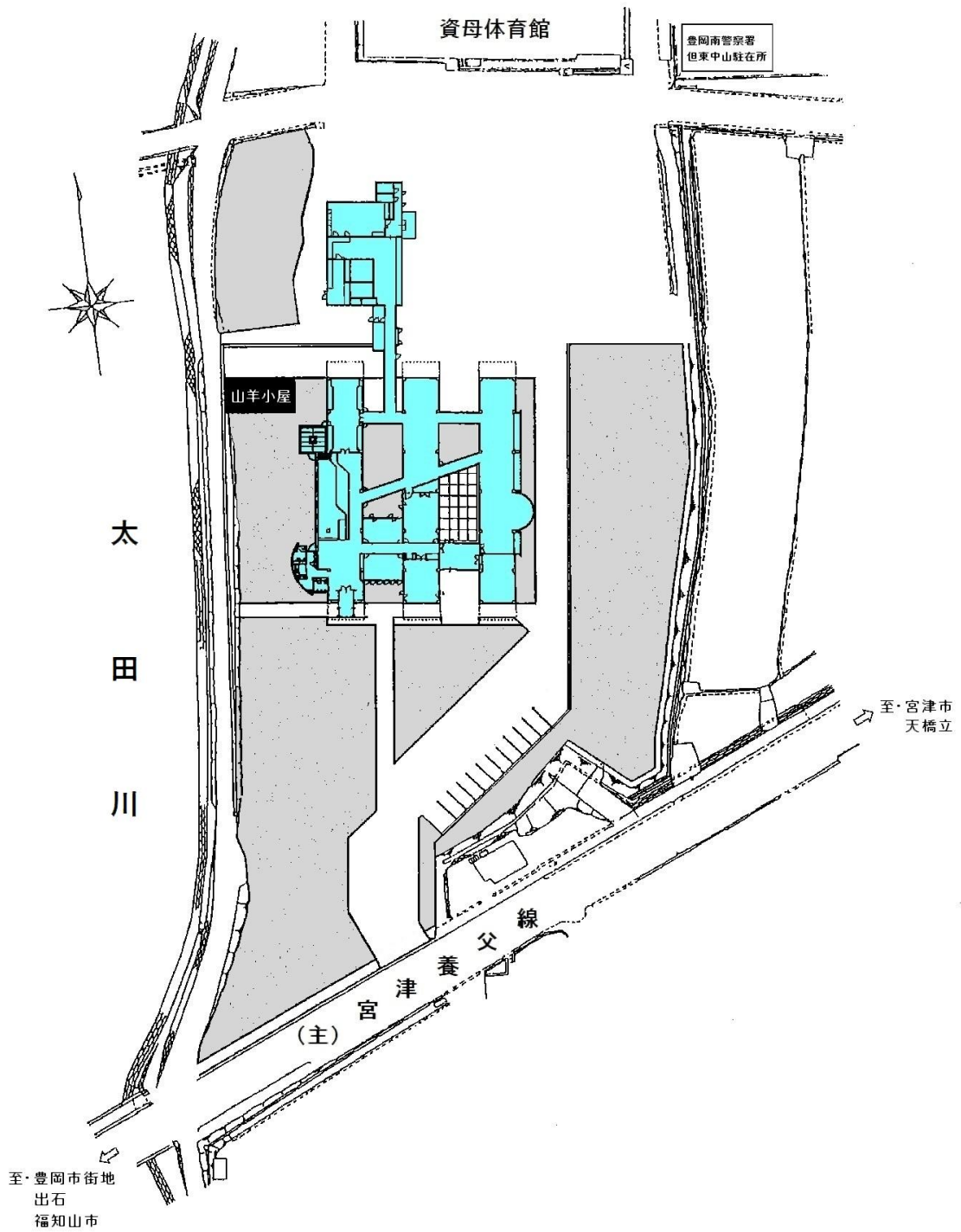
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森/211.6㎡、収蔵庫1/54.6㎡、収蔵庫2/56.5㎡ 荷解室/33.3㎡、応接室/28.0㎡、事務室/33.3㎡、資料整理室/48.2㎡ 展示室「アジアの歴史」/75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」/206.8㎡ 展示室「チベット仏教」/37.7㎡ 企画展示室/74.4㎡ シルクロード回廊1/13.3㎡、シルクロード回廊2/13.3㎡、シルクロード回廊3/12.6㎡、シルクロード回廊4/12.6㎡

建物規模	平屋建て/東西41.8m、南北42.5m 地上高9.0m <外装>複層吹付
仕 上 げ	<内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井/杉小幅板、岩綿吸音板貼

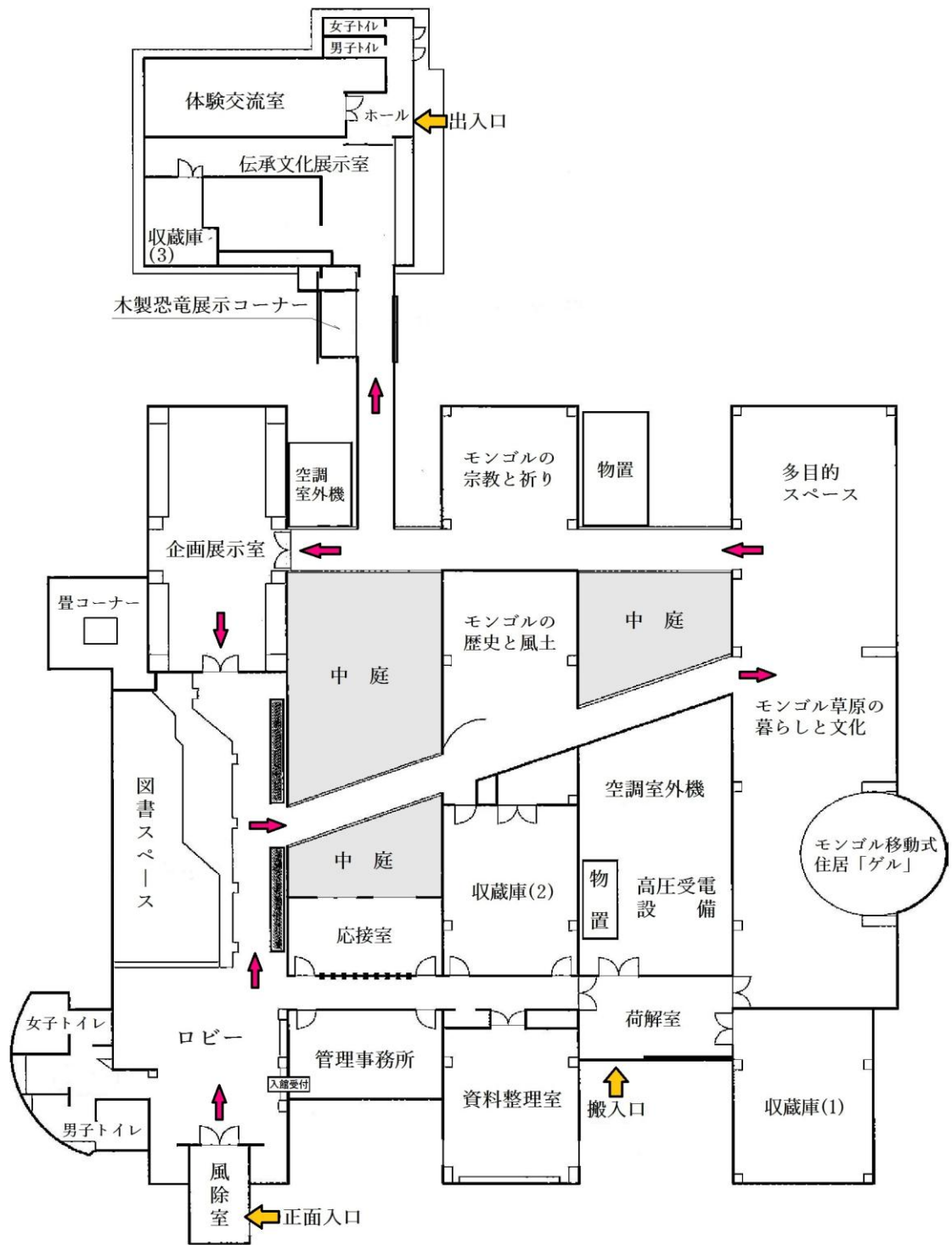
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山711
基本設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示/井上良一建築設計事務所
工事施工	建物/株式会社マルテン 展示/株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示/着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造、木造瓦葺
各室面積	体験交流室/62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」/112.5㎡、シルクロード回廊5/36.4㎡、収蔵庫/27.2㎡
建物規模	平屋建て/東西12.8m、南北21.2m 地上高7.1m
仕 上 げ	<外装>押出形成セメント板 <内装>床/モルタル下地タイルカーペット貼 壁/ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井/化粧PB貼、一部杉板貼

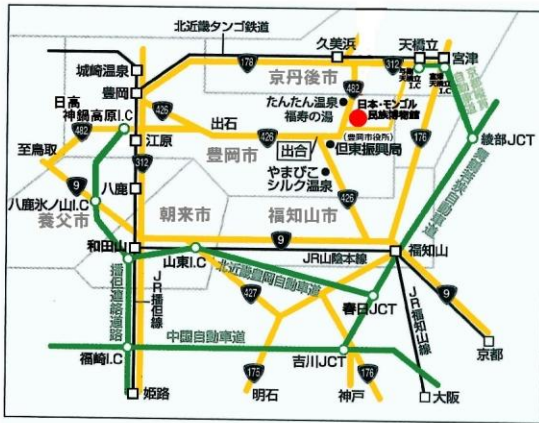
(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



### ■ JRで（山陰線）

豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車

### ■ お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道

福知山ICより約55分

京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路

与謝天橋立ICより25分

姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道

和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山IC

より約45分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）  
年末年始（12月28日～1月4日）  
展示替えによる臨時休館
- 入館料 一 般 500円（400円）  
高校 大学生 300円（240円）  
小学 中学生 250円（200円）

※（ ）内は20名以上の団体の場合

※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

**豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第22号**

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No. 22 (for the fiscal years of 2020)**

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

**発行／豊岡市立日本・モンゴル民族博物館**

**2020年3月31日発行**